

製品名: レペチンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17023**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	RPTN
別名	RPTN; Repetin
遺伝子 ID	126638.0
SwissProt ID	Q6XPR3
免疫原	抗血清はヒト RPTN 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 648-697

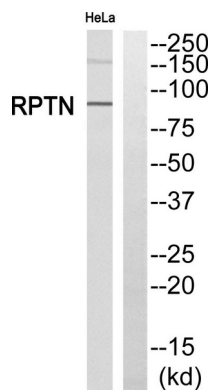
背景

ドメイン: S100 様カルシウム結合タンパク質と高い相同性を持つ N 末端ドメイン、一連の短いタンDEMリピートを含む中央ドメイン、および中央リピートのコンセンサス配列と低い相同性を持つ 2 つの隣接セグメントに分けられます。機能: 角質細胞膜の形成に

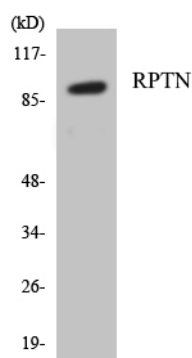
関与する。多機能表皮マトリックスタンパク質。カルシウムと可逆的に結合する。、PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。、PTM: トランスグルタミナーゼの潜在的な基質。一部のアルギニン、ペプチジルアルギニンデミダーゼによってシトルリンに変換されると考えられます。、類似性:S100 融合タンパク質ファミリーに属します。、類似性:2つの EF ハンドドメインを含みます。、組織特異性:発現は正常表皮では散在していますが、舌の毛根鞘、内毛根鞘、糸状乳頭では強く発現しています。、ドメイン:S100 様カルシウム結合タンパク質と高い相同性を持つ N 末端ドメイン、一連の短いタンデムリピートを含む中心ドメイン、および中心リピートのコンセンサス配列と低い相同性を持つ 2つの隣接セグメントに分けられます。、機能:角質細胞エンベロープの形成に関与します。多機能表皮マトリックスタンパク質です。カルシウムと可逆的に結合します。、PTM:DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、PTM:トランスグルタミナーゼの潜在的な基質です。一部のアルギニン、ペプチジルアルギニンデミダーゼによってシトルリンに変換されると考えられます。、類似性:S100 融合タンパク質ファミリーに属します。、類似性:2つの EF ハンドドメインを含みます。、組織特異性:発現は正常表皮に散在していますが、舌の先端部、内毛根鞘、糸状乳頭では強く発現しています。、

研究分野

画像データ



RPTN 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは RPTN ペプチドでブロックされている。



RPTN 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

Repetin ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析

